

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	こどもリハビリテーション支援専攻科	科 目 区 分	その他	授業の方法	実習
科 目 名	臨地実習Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	40 (1)
対 象 学 年	こどもリハビリテーション支援専攻科	学期及び曜時限	後期	教室名	
担当教員	高田 寛彬				
実務経験と その関連資格	【実務経験】 理学療法士として急性期病院に勤務。 【関連資格】 認定理学療法士(運動器)。修士号(健康科学)取得。				
《授業科目における学習内容》					
臨床の現場実習					
《成績評価の方法と基準》					
実習評価等、複合評価					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
学外実習ワークシート(配布)					
《授業外における学習方法》					
実習評価等、複合評価					
《履修に当たっての留意点》					
実習指導者の指導を理解すること					
授業の 方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	授業を 通じての 到達目標	臨地実習Ⅰから得た知識を指導者に伝え、指導下にて模倣ができる。	学外実習ワークシート (配布)	自宅での日誌記入	
	各コマに おける 授業予定	有資格者として専門職の対応ができる。			
第 2 回	授業を 通じての 到達目標	臨地実習Ⅰから得た知識を指導者に伝え、指導下にて模倣ができる。	学外実習ワークシート (配布)	自宅での日誌記入	
	各コマに おける 授業予定	有資格者として専門職の対応ができる。			
第 3 回	授業を 通じての 到達目標	臨地実習Ⅰから得た知識を指導者に伝え、指導下にて模倣ができる。	学外実習ワークシート (配布)	自宅での日誌記入	
	各コマに おける 授業予定	有資格者として専門職の対応ができる。			
第 4 回	授業を 通じての 到達目標	臨地実習Ⅰから得た知識を指導者に伝え、指導下にて模倣ができる。	学外実習ワークシート (配布)	自宅での日誌記入	
	各コマに おける 授業予定	有資格者として専門職の対応ができる。			
第 5 回	授業を 通じての 到達目標	臨地実習Ⅰから得た知識を指導者に伝え、指導下にて模倣ができる。	学外実習ワークシート (配布)	自宅での日誌記入	
	各コマに おける 授業予定	有資格者として専門職の対応ができる。			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	臨地実習 I から得た知識を指導者に伝え、指導下にて模倣ができる。	学外実習ワークシート (配布)	自宅での日誌記入
	各コマにおける授業予定	有資格者として専門職の対応ができる。		
第7回	授業を通じての到達目標	臨地実習 I から得た知識を指導者に伝え、指導下にて模倣ができる。	学外実習ワークシート (配布)	自宅での日誌記入
	各コマにおける授業予定	有資格者として専門職の対応ができる。		
第8回	授業を通じての到達目標	臨地実習 I から得た知識を指導者に伝え、指導下にて模倣ができる。	学外実習ワークシート (配布)	自宅での日誌記入
	各コマにおける授業予定	有資格者として専門職の対応ができる。		
第9回	授業を通じての到達目標	臨地実習 I から得た知識を指導者に伝え、指導下にて模倣ができる。	学外実習ワークシート (配布)	自宅での日誌記入
	各コマにおける授業予定	有資格者として専門職の対応ができる。		
第10回	授業を通じての到達目標	臨地実習 I から得た知識を指導者に伝え、指導下にて模倣ができる。	学外実習ワークシート (配布)	自宅での日誌記入
	各コマにおける授業予定	有資格者として専門職の対応ができる。		
第11回	授業を通じての到達目標	臨地実習 I から得た知識を指導者に伝え、指導下にて模倣ができる。	学外実習ワークシート (配布)	自宅での日誌記入
	各コマにおける授業予定	有資格者として専門職の対応ができる。		
第12回	授業を通じての到達目標	臨地実習 I から得た知識を指導者に伝え、指導下にて模倣ができる。	学外実習ワークシート (配布)	自宅での日誌記入
	各コマにおける授業予定	有資格者として専門職の対応ができる。		
第13回	授業を通じての到達目標	臨地実習 I から得た知識を指導者に伝え、指導下にて模倣ができる。	学外実習ワークシート (配布)	自宅での日誌記入
	各コマにおける授業予定	有資格者として専門職の対応ができる。		
第14回	授業を通じての到達目標	臨地実習 I から得た知識を指導者に伝え、指導下にて模倣ができる。	学外実習ワークシート (配布)	自宅での日誌記入
	各コマにおける授業予定	有資格者として専門職の対応ができる。		
第15回	授業を通じての到達目標	臨地実習 I から得た知識を指導者に伝え、指導下にて模倣ができる。	学外実習ワークシート (配布)	自宅での日誌記入
	各コマにおける授業予定	有資格者として専門職の対応ができる。		

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	こどもリハビリテーション支援専攻科		科 目 区 分	その他	授業の方法	実習
科 目 名	臨地実習Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	40 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	こどもリハビリテーション支援専攻科		学 期	後期	教室名	
担 当 教 員	高田 寛彬	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
臨床の現場実習						
《成績評価の方法と基準》						
実習評価 100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
学外実習ワークシート(配布)						
《授業外における学習方法》						
実習評価 100%						
《履修に当たっての留意点》						
実習指導者の指導を理解すること						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	授業を 通じての 到達目標	臨地実習Ⅰから得た知識を指導者に伝え、指導下にて模倣ができる。		学外実習ワーク シート(配布)	自宅での日誌記入	
	各コマに おける 授業予定	有資格者として専門職の対応ができる。				
第 17 回	授業を 通じての 到達目標	臨地実習Ⅰから得た知識を指導者に伝え、指導下にて模倣ができる。		学外実習ワーク シート(配布)	自宅での日誌記入	
	各コマに おける 授業予定	有資格者として専門職の対応ができる。				
第 18 回	授業を 通じての 到達目標	臨地実習Ⅰから得た知識を指導者に伝え、指導下にて模倣ができる。		学外実習ワーク シート(配布)	自宅での日誌記入	
	各コマに おける 授業予定	有資格者として専門職の対応ができる。				
第 19 回	授業を 通じての 到達目標	臨地実習Ⅰから得た知識を指導者に伝え、指導下にて模倣ができる。		学外実習ワーク シート(配布)	自宅での日誌記入	
	各コマに おける 授業予定	有資格者として専門職の対応ができる。				
第 20 回	授業を 通じての 到達目標	臨地実習Ⅰから得た知識を指導者に伝え、指導下にて模倣ができる。		学外実習ワーク シート(配布)	自宅での日誌記入	
	各コマに おける 授業予定	有資格者として専門職の対応ができる。				